

## 「TES 受験講習会」のご案内

### 1. TES(繊維製品品質管理士)とは

TESは、主として衣料用繊維製品の品質・性能向上を図り、消費者からのクレーム防止に貢献することが求められるスペシャリストです。品質向上は、業界成熟が続く今も高いレベルが求められており、企業等で企画・製造・品質管理・販売業務で中核的役割を担うことが期待されています。

TESは、日本衣料管理協会が実施する試験に合格して認定されます。平成29年度は出願者2,600名で、合格認定の結果は厳しく、より積極的な受験取組みが求められています。

JTCC東海支部では、技術士講師が受講者様にTES試験合格のお役に立てる様、繊維製品について“基礎的解説”から“事例・論文の記述式解答の的確な書き方”まで、少数精鋭の指導させて戴きます。

**今年は教室会場を変更して、初めて受験の方と、既に合格科目をお持ちの方に、それぞれ細かくカリキュラム対応させて戴きます。**

### 2. TES試験の内容

TES試験は年1回、7月に実施され、試験科目は次の5科目から成ります。正式には4月初に試験要項が発表されます。

- (1)「繊維に関する一般知識」(択一式、60分間)
- (2)「家庭用繊維製品の製造と品質」(択一式、60分間)
- (3)「家庭用繊維製品の流通、消費と消費者問題」(択一式、60分間)
- (4) 苦情「事例」の解析(記述式、60分間)：損傷、外観・形態変化、風合い変化、光沢変化、色の変化、加工の機能性低下、安全・衛生および表示の不適正等に関する品質苦情事例から3問出題され、その中から1問を選択し、原因解析と再発防止策について400～800字で記述解答が求められます。
- (5)「論文」(記述式、60分間)：繊維製品の品質管理業務に必要な知識と応用能力の有無、論旨の一貫性、表現の的確性などが評価されます。600～800字で記述解答します。合格科目は3年間有効ですが、5科目全てに合格してTES資格を取得することが出来ます。

**別紙 JTCC東海支部のTES受験講習会の詳細をご覧ください。**

**主催 JTCC ((一社)日本繊維技術士センター) 東海支部**

所在地； 〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18 一光大須ビル 7F  
(公財)中部科学技術センター 内

### 3. JTCC 東海支部の受験講習会

- 1) 日 時 : ① “標準 5 日間 コース” ; 初めて受験の方にお勧めします。  
平成 30 年 3 月 17 日～6 月 2 日の計 5 日間 (いずれも土曜日開催)  
② “個別 3 日間 コース” ; 既に合格科目をお持ちの方にお勧めします。  
資格取得に残り必要とされる科目に合わせて、受講科目選択下さい。  
平成 30 年 3 月 25 日～6 月 3 日の計 3 日間 (いずれも日曜日開催)
- 2) 会 場 : JTCC 東海支部 事務所教室 〒450-0002 名古屋市東区撞木町 1-1  
(ここは JTCC 東海支部の撞木町事務所、東区の「ウイルあいち」のすぐ近く南東方向に位置しています。) 教室会場所在は現地で看板にて表示します。事務所に固定電話は設置していません。ご用は下記講座問合せ先の携帯電話へご一報願います。
- 3) 受講料(消費税含む) : “標準コース”を受講される場合¥48,000。 “個別コース”は受講される科目毎に受講料を設定しています。詳細は添付資料をご覧ください。
- 4) 申込方法 : 添付の申し込み用紙に必要事項を記入し、下記に FAX にてお申し込み下さい。  
標準コース、個別コース科目毎に、先着 15 名様をもって締め切らせて戴きます。  
申込み送付先 ; FAX 052-204-1469
- 5) 受講料のお振込み方法 : 下記の郵便局「払込取扱票」にて、開講 8 日前までにお振込み願います。  
標準コースは 3 月 9 日(金)までに、個別コースは 3 月 16 日(金)までにお振込み頂き、  
これら以降の受講キャンセルは、準備の都合上お受け出来ませんのでご了承願います。  
(振込票(手数料無料)は、受講申し込み FAX を受け取り次第、お送りします。)  
口座番号 : 00990-6-134918、 加入者名 : JTCC 教育活動委員会  
(勝手ながら、銀行口座は開設しておりません。)
- 6) JTCC 東海支部の TES 受験講習会の特徴
  - ☆ TES 本試験の対象となる全領域について、各分野の専門技術士が担当して講義を行ないます。
  - ☆ 近年、基礎科目の難度が上がって来たと分析しています。キーワード理解の解説をします。
  - ☆ 今も難関の科目「事例」と「論文」の書き方解説を充実させた教材を編成し、加えて受講者より記述提出されました解答への添削指導も行ないます。
  - ☆ 講義・演習等が終了した後に、本試験と同じ要領で模擬試験を行ない、該当科目補充のフォローアップも行っていきます。
  - ☆ 教材は、試験に出題される日本衣料管理協会発行の教材を基本にします。事前に各自、最新(平成 29 年 12 月 1 日時点で最新のもの)の教材をご購入準備願います。  
尚、他に JTCC 作成の資料も講義の際に配布します(こちらは無料です)。
- 7) 問合せ先

JTCC 執行役員 東海支部 副支部長・支部教育活動委員長 :

平手 厚 TEL 090-5626-9992、e-mail atsushitec@fj8.so-net.ne.jp

JTCC 執行役員 東海支部 事務局長 :

野口 章一郎 TEL 090-3055-7584、e-mail bonjour.de.shoichiro@grace.ocn.ne.jp

## 2018(H30)年度 TES 受験講習会詳細

## ① 標準 5 日間]ー入

* 標準コースは5日間とも土曜日開催です。				
第1日目	オリエンテーション	受験勉強の取組み方と演習問題提示	9:30~10:20(50分)	平手
2018.3.17 (土)	「基礎科目」 〈繊維製品の基礎知識シリーズ〉	1. 繊維の種類と性質	10:30~12:00(90分)昼休み	平野
	「第1部」 繊維に関する一般知識	2. 糸の種類・製造・性質	13:00~14:15(75分)	西村悌
		3. 布等の種類・製造・性質	14:25~15:40(75分)	岩上
		4. 染色加工	15:50~17:40(110分)	平手
第2日目	「基礎科目」 〈繊維製品の基礎知識シリーズ〉	1. 衣料品の企画・設計	9:30	後藤俊
3.24 (土)	「第2部」 家庭用繊維製品の 製造と品質	2. 衣料品の製造	~11:00(90分)	
		3. 衣料品の品質要求項目と消費性能	11:10	
		4. 人体の生理機能、自然環境条件と衣服	~12:00(50分)昼休み	
		5. 繊維・糸・布・製品の試験方法	13:00~14:10(70分)	
		6. 品質管理	14:20~15:30(70分)	野口
第3日目	「基礎科目」 〈繊維製品の基礎知識シリーズ〉	1. 消費者行動とその調査方法	9:30	野口
4.14 (土)	「第3部」 家庭用繊維製品の流通、 消費と消費者問題	2. 消費者問題と消費者政策		(テキスト第3部全て)
		3. 経済の変化と衣料の流通、消費		
		4. 衣料品の消費と消費者苦情・環境問題	~12:00(150分)昼休み	
	「事例」 〈繊維製品の品質苦情がイト〉	I 繊維製品の品質苦情を解決するために	13:00~13:30(30分)	平手
		1. 品質苦情の発生原因		
		2. 品質苦情を処理する手順		
		II 品質苦情の事例	13:30	平手
		1. 損傷		
		2. 外観・形態変化		
		3. 風合い変化、光沢変化	~16:20(170分)	
		5. 加工の機能性低下	16:30	
		6. 安全・衛生		
		7. 表示の不適正	~17:00(30分)	
第4日目	「事例」 〈繊維製品の品質苦情がイト〉	4. 色の変化	9:30~12:20(170分)	西村悌
4.21 (土)	「論文」 〈JTCCテキスト〉	1. 論文の書き方	13:20~14:20(60分)	永安
		2. 論文作成演習	14:30~17:00分(150分)	
第5日目	『模擬試験』	基礎科目1 試験	9:00~10:00(60分)	野口、平手
6.02 (土)		基礎科目2 試験	10:10~11:10(60分)	
		基礎科目3 試験	11:20~12:20(60分)昼休み	
		事例 試験	13:20~14:20(60分)	
		論文 試験	14:30~15:30(60分)	
	フォローアップスクーリング	基礎科目1~3 解説	15:40~16:10(30分)	野口
		事例 解説	16:10~16:40(30分)	平手
		論文 解説	16:40~17:10(30分)	斎藤

〔添付資料-2〕

## ② 個別3日間コース

* 個別コースは3日間とも <b>日曜日開催</b> です。				
第1日目	オリエンテーション	受験経験を踏まえての対策	9:00～9:30(30分)	平手
2018.3.25 (日)	『基礎科目』 〈繊維製品の基礎知識シリーズ〉 各1冊	「第1部」 繊維に関する一般知識	9:30～12:00(150分)昼休み	平野・(西村悌)
		「第2部」 家庭用繊維製品の製造と品質	13:00～15:00(120分)	後藤俊
		「第3部」 家庭用繊維製品の流通、 消費と消費者問題	15:10～17:10(120分)	野口
第2日目	『事例』 〈繊維製品の品質苦情が仆〉 1冊	品質苦情に関する発生原因・処理手順 ・品質苦情の事例	9:00～12:10(190分)昼休み	平手
4.01 (日)	『論文』 〈JTCCテキスト〉	① 論文の書き方	13:10～14:10(60分)	永安
		② 論文作成演習	14:20～17:00(160分)	
第3日目  6.03 (日)	『模擬試験』  フォローアップスクーリング	基礎科目1 試験	9:00～10:00(60分)	野口、平手
		基礎科目2 試験	10:10～11:10(60分)	
		基礎科目3 試験	11:20～12:20(60分)昼休み	
		事例 試験	13:20～14:20(60分)	
		論文 試験	14:30～15:30(60分)	
		基礎科目1～3 解説	15:40～16:10(30分)	野口
		事例 解説	16:10～16:40(30分)	平手
		論文 解説	16:40～17:10(30分)	斎藤

講師は都合により、変更することがありますが、ご了承ください。

### 講師プロフィール

氏名	プロフィール
岩上 厚	元三菱レ(株) (合繊の加工技術開発・経営)、JTCC 参与
後藤 俊次	(株)ソトー (技術研究開発・繊維加工) JTCC 評議員 TES 会員
斉藤 磯雄	元東レ(株) (産業用繊維新製品・プロセスの研究技術開発)、JTCC 相談役、TES 会員
永安 直人	元東レ(株) (合繊の研究・技術開発、生産管理技術統括)、JTCC 理事、東海支部長
平野 繁	大塚高分子工業(株) (産業用繊維の紡糸製糸、技術開発、工場統括)、JTCC 評議員
西村悌二郎	元ユニチカ(株) (染色加工技術開発・新商品開発)、JTCC 参与
野口章一郎	元カネボウ(株)/KB セーレン(株)(合繊の新製品・プロセス開発、欧州駐在)、JTCC 執行役員、事務局長
平手 厚	元ニッケ(株) (染色加工技術・新商品開発)、JTCC 執行役員、東海副支部長、TES 資格所有

### テキストの準備について

日本衣料管理協会から発行されている下記教本「**繊維製品の基礎知識シリーズ(第1～3部)**」と「**改訂 繊維製品の品質苦情が仆**」-消費者苦情の原因究明・再発防止策-」を、各自の必要に合わせて**事前購入準備**下さい。

「**試験問題集(過去問題集)**」については、要不要は各自判断にお任せしますが、**過去問分析は、TES 試験の場合、合格達成に非常に有効な材料**と考えています。

「**論文**」科目は、日本衣料管理協会から発行のテキストは無く、**JTCC 独自のテキスト**を使い、**書き方解説と文作成演習**します。

更に、講義時の理解を深めるために事前予習をお勧めします。

教 本	価 格
繊維製品の基礎知識シリーズ(第1～3部)	¥ 5,600
改訂繊維製品の品質苦情が！ - 消費者苦情の原因究明・再発防止策 -	¥ 2,500
試験問題集 (註：過去5年分の問題と解答)	¥ 2,300

[添付資料-3]

[名古屋会場]

## 2018(H30)年度 TES受験講座申込み書

(申込み送付先 ; FAX 052-204-1469)

### コース、科目毎の「受講料」と「受講申込み科目記入表」

受講者お名前;	_____
勤務先;	_____
連絡先住所;	_____
連絡先 e-mail;	_____
電話番号;	_____

		受講料 (円。消費税込み)	受講申込み科目に ○印記入下さい
①	”標準5日間コース” 「初日～第5日の全てのカリキュラム」	48,000	
②	”個別3日間コース” 「基礎科目」 〈繊維製品の基礎知識シリーズ〉 各1冊		
	「第1部」 繊維に関する一般知識	7,000	
	「第2部」 家庭用繊維製品の製造と品質	7,000	
	「第3部」 家庭用繊維製品の流通、 消費と消費者問題	7,000	
	「事例」 〈繊維製品の品質苦情ガイド〉 1冊	11,000	
	品質苦情に関する発生原因・処理手順 ・品質苦情の事例		
	「論文」 〈JTCCテキスト〉	11,000	
	① 論文の書き方 ② 論文作成演習		
	『模擬試験』 (採点・添削を含む)		
	基礎科目1 試験	1,000	
基礎科目2 試験	1,000		
基礎科目3 試験	1,000		
事例 試験	1,500		
論文 試験	1,500		
フォローアップスクーリング*			
基礎科目1 解説	0 (解説は受講料に含む)		
基礎科目2 解説			
基礎科目3 解説			
事例 解説			
論文 解説			

お願い;既に、合格有効科目をお持ちの方は○印を付けて下さい。

- 「基礎科目1」
- 「基礎科目2」
- 「基礎科目3」
- 「事例」
- 「論文」

受講料合計:

\_\_\_\_\_ 円

以上